




議 事 録

<p>会議名： 鹿島社有林 J-VER プロジェクト(福島・羽鳥山林) の取組開始に関する打合せ</p>	<p>日時</p>	<p>2009年7月29日 9:00~10:00</p>
<p>出席者： ■ふくしま中央森林組合：渡辺組合長、柏木岩 瀬事務所長、鈴木森林整備係 ■かたばみ興業山林部：高野部長、馬場 ■鹿島建設環境本部：三浦次長</p>	<p>確認</p>	<p>ふくしま中央森林組合・応接室</p> <p style="text-align: right;">   </p>
	<p>記録</p>	<p>三浦</p> <p style="text-align: right;">  </p>
<p>議事内容：</p> <p>これまで、社有林の施業については、鹿島建設がかたばみ興業に委託して実施しており、施業そのものについては、今後も同様の枠組みで変わりなく実施するものであるが、この度、環境省が制定した J-VER 制度を活用したオフセット・クレジットの取得を鹿島建設環境本部が中心となりかたばみ興業の協力を得つつ実施したいとの意向を森林組合に伝えた。</p> <p>森林組合長からは、福島の森林と森林施業の特徴などに関する説明があり、森林組合としても、温暖化対策の必要性が高まる中、今後も森林施業計画の立案・実施については、他の山林所有者の山林についても持続的に実施するものであり、その中で鹿島建設がこうした新しい制度を活用することについては快く支援するとの意向が伝えられた。</p> <p>また、鹿島側から当面必要な資料として、森林施業計画書、これまでの補助金の記録などを要請したが、森林組合側からは、あまり古いものでなければ、個人情報を除いて提供可能とのことであった。</p> <p>J-VER 制度のモニタリング・ガイドラインについても説明を行い、今後、間伐実施地域についてはこのガイドラインに沿ったモニタリングが必要になる旨の説明を行った。</p> <p>なお、打合せ後、羽鳥山林の踏査を共同で実施した。</p>		
<p>配布資料：</p> <p>① 当社所有林の CO2 吸収量の認定手続きに関するお願い</p> <p>② オフセット・クレジット (J-VER) モニタリング方法ガイドライン (森林管理プロジェクト用) (Ver. 1.0)</p>		